

化石館だより



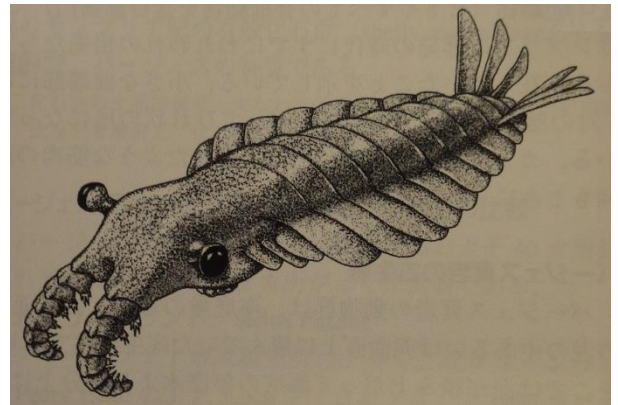
コラム

魚類の歯とされた腕足類化石

太古の世界に生息していた生物を古生物と言います。古生物はそのほとんどが既に絶滅していますが、化石によって確かに存在していたことが確認されています。また古生物は、化石によって様々な種類に分類され、一部のものはその姿が復元されています。けれども化石は、古生物の生息時の姿をそのまま保存しているものではありません。化石として保存されるのは、ほとんどが歯や骨、貝殻など体の硬い部分だけです。しかもそれは破損していたり、押しつぶされたり、ねじ曲げられたりしています。水に流され、体の各部分が離れ離れになって発見されることもあります。また古生物は、現在の生物とは大きく姿が異なるものが多く、見たこともない生物の生息時の姿を化石から復元することは大変難しい作業となります。

現在多くの古生物の姿が復元図として紹介されていますが、その研究の過程では多くの誤りが見つかり修正されてきました。またこうしてできた復元図も完全なものではなく、研究が進めば今後更に修正されていくものです。ゴジラが登場した当時、恐竜は尻尾を引きずる形に復元されていましたが、今は地面から持ち上げた形になっています。羽毛をもつ恐竜がいるとは想像もしていませんでしたが現在ではたくさん見つかってきて、羽毛をまとった姿の復元図を見ることもあります。

アノマロカリスというカンブリア紀に生息した大型の節足動物は、当初、触手の部分が「甲殻類の腹部」と判断され「異様なカニ」を意味する「アノマロカリス」と名付けられました。また、口の部分は「クラゲ」と考えられ「ペウトイア」、同じく同体の部分は「海綿の一種」と考えられ「ラガニア」と名付けられていました。より完全な標本が発見され、それぞれが体の一部であることや、この仲間が何種類もいることが分かってきた今は、アノマロカリスは「アノマロカリス類」としてこのグループ全体を指す名称とされています。



アノマロカリスの復元図

「世界の化石遺産 化石生態系の進化」(朝倉書店)より

金生山の下部層からは「レプトダス」という肋骨のような形をした腕足類の化石が見つかりますが、*Leptodus richthofeni* KAYSER というこの化石についても興味深いエピソードが知られています。

1883年 Kayser は中国江西省で発見されたこの化石を魚類の歯であると考え *Leptodus* 属という新属を設けて *Leptodus richthofeni* という新種の記載をしました。同じ年に、Waagen はパキスタンから発見された化石を研究して、この化石が魚の歯ではなく腕足類であることを指摘しました。そして *Lyttonia* という新属を設けたのです。同じ年に同じ生物について、魚類と考えた学者と腕足類と考えた学者がい



レプトダスの一種

たというのは面白いですね。金生山のレプトダスは腕足類ですから、リットニアという属名を用いて *Lyttonia richthofeni* とすべきですが、Kayserの方がわずかに早く発表していますので、命名規約に従ってレプトダスという属名が用いられています。

余談ですが、種名の *richthofeni* は発見者の リヒトフォーヘンにちなんだものです。リヒトフォーヘンはシルクロードの名付け親で知られるドイツ人の地理学者であり地質学者ですが、幕末に数回日本に立ち寄っています。二回目の来日の際には美濃路から中山道を歩き垂井の土産物屋で石灰岩の細工物を手に入れています。この

細工物は彼の記録から金生山の石灰岩で作成されたことが確認されており、これが SCHWAGER の手にわたり赤坂石灰岩のフズリナ化石が細密な図入りで紹介されることにつながっていきました。

(文責：高木洋一)

お知らせ

後期企画展の開催

10月6日(土)より、フズリナをテーマとした企画展の開催を予定しています。赤坂石灰岩で最も多く目にするフズリナですが意外と知られていません。フズリナとはどのような生物なのか詳しく紹介しようと思います。



自然講座の開催

10月の14日・21日・28日(いずれも日曜日)の午前中に開催を予定しています。陸生の貝類を採集・観察したり、顕微鏡を用いて微化石を観察したりします。また、石灰岩の砕石から化石を探す活動も予定しています。詳しくは金生山化石館へお尋ねください。

わくわく体験

金生山産のフズリナやサンゴ化石を用いた標本作りやアクセサリー作成の他、レプリカ作成や化石クリーニング体験などを準備しています。来館時にいつでも体験できます。ご利用ください。

問い合わせ： 大垣市金生山化石館 電話 (0584) 71-0950 (ファックスも同じ)
Email kasekikan@vanilla.ocn.ne.jp